



# ちょっと拝見。エコガラスのある我が家

エコガラスの窓が支える、快適で省エネな住まい。  
その心地よい暮らしをご紹介します。

## 建売住宅を“エコ”でフルリフォーム

千葉県/Y邸/軽量鉄骨造一戸建



### 暑さ・寒さ対策 既存サッシの窓をエコガラスに交換

- 夏の暑さと西日の熱を解決したい
- 冬期の結露と室内の寒さ対策
- インテリアのフェイクな素材感を改善

#### Profile Data

立地：千葉県市原市  
住宅形態：軽量鉄骨造2階建  
住まい手：夫婦  
間取り：3LDK+鍼灸治療室  
リフォーム工期：2013～14年（フルリフォーム）

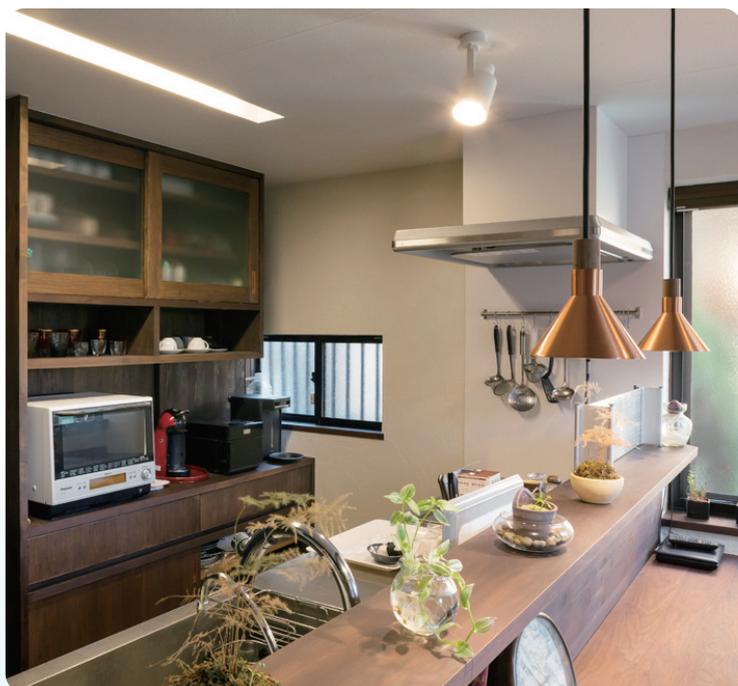
窓リフォームに使用した主なガラス：  
アタッチメント付エコガラス  
利用した補助金：  
省エネルギーフォーム減税・木材エコポイント  
改修設計：野口修アーキテクトアトリエ

### 暑さ・寒さ・チープな素材感が辛かった

市原市内のニュータウンの一角に位置するY邸は、ハウスメーカーが建てた軽量鉄骨造建売住宅。20年住んできたこの家は、夏はいられないほど暑く、冬は室内が0℃にもなる寒さとシングルガラス窓の結露に悩まされてきました。

加えて、インテリアはビニールクロスの壁紙が多く使われるなど素材感の低いものでした。「この程度の材質なのか」と住まい手自身ががっかりし、ずっと疑問を持ったまま、住み続けられてきたのです。

### 既存サッシにエコガラスを入れて窓を断熱



無垢の木材を使った造作戸棚や喫茶店風のカウンターが、高い質感と居心地の良さを備えたキッチン空間をつくっている

リフォームのきっかけは、鍼灸師のYさんが自宅での治療室開設を決めたことです。1階和室のリノベーションと家全体の断熱を決めました。

引き受けたのは野口修アーキテクトアトリエ。担当の野口修一さんは木材や珪藻土などの自然素材を生かし、高い質感を出すことを念頭にデザインを進めます。

さらに、断熱性能を上げるために水まわりや

寝室の窓をエコガラスに交換するよう提案。既存のサッシにそのままはめこむことができるアタッチメント付エコガラスを採用したのです。

壁にも断熱材を足しました。



和室をリノベーションした治療室は西側に大きな窓。エコガラスで断熱するとともに、型ガラスを選ぶことで患者さんのプライバシーにも配慮した



2面採光のYさんの寝室。南の掃き出し窓と西にふたつある縦長のすべり出し窓はどちらもエコガラスに交換した。暑さで寄りつけなかった部屋が今はくつろぎの場に

壁にも断熱材を足しました。

工事後初めての夏、Yさんご夫妻がまず驚いたのはエアコンの効き方です。「スイッチを入れるとすぐ効いて、効率がすごくいいんですよ」窓から入る外の熱気が減ったことで、就寝時以外は暑くて上がれなかった2階にも頻繁に出入りできるようになりました。西日を受ける窓があるためいっそう暑く、一晩中エアコンを回していたYさんの寝室も、リフォーム後は「寝る前に少しかだけ冷やし、あとは朝までスイッチオフで大丈夫です」

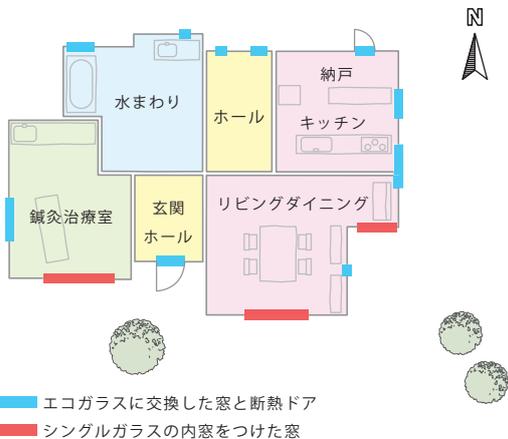
## 外気温7℃でも暖房なしで19℃の室内

取材は冬の初めでしたが、寒さを防ぐエコガラスの力もすでに現れていました。「外気温が7℃の日に、暖房なしで室内は19℃くらいあったんですよ」とYさん。寒さで動きが鈍くなり、ずっとひとつの部屋で過ごすのはいやだ…そんな思いを持つご夫妻にとって、外の冷気を遮断し室内どこでも暖かさを保つエコガラスの断熱性能は大きな力になるでしょう。窓際にしつらえたベンチが自由に動ける快適な暮らしに楽しさを添えています。



エコガラスの窓辺に木造ベンチをつくりつけたキッチン脇の小さなスペースは、本好きの住まい手が読書を楽しむのにうってつけ

### ■ Y邸の窓の配置



### 〈住まい手の声〉

一生のうちに一度は“ちゃんとした家”に住んでみたい、と思っていました。木の内装は古民家喫茶みたいで落ち着きますね(笑) リフォームしてからは、南向きの窓があって庭が



見下ろせる2階のホールも好きになりました。快適ですよ。そのうちテーブルと椅子を置いてお茶を飲んでもいいですね。